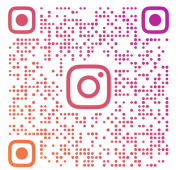


半年で170社・1,200名の雇用創出！

人材屋新聞

2026年07月号

Instagram



YouTube



雇用創出を通じて

企業と地域の成長を支える挑戦

第十二期の事業方針として、「お客様の採用成功に全力で向き合う」ことをテーマに掲げました。

このテーマは、働くメンバー全員で話し合い、求人広告を販売する会社ではなく、お客様の採用成功を支援する会社でありたいという想いを込めて決めたものです。一人ひとりがお客様の採用成功に本



気で向き合い、取り組んできました。その結果、二〇二五年十月一日から二〇二六年三月三十一日までの半年間で、百七十社の採用成功、そして千二百名の雇用創出を実現することができました。この成果は、北九州市および近郊エリアで事業を営まれている企業様と共に積み重ねてきた成果であり、地域の雇用を支える大きな一歩であると考えています。

人材屋は創業以来、「ご商売をされる方々」「ここで暮らす方々」「人材屋で働くメンバー」の三方良しを実現し、地域社会に貢献することを使命として歩んできました。今回の成果は、その理念も大切にしながら、日々取り組むメンバーの努力の結晶であり、一つの証となったことに深い喜びを感じています。



これからも北九州市および近郊エリアに根差した採用支援会社として、地域企業の成長と雇用創出を支えながら、一社でも多くの採用成功を実現できるよう努めてまいります。どんな小さなことでもお気軽にご相談ください。皆さまの課題に寄り添い、一緒に解決へと歩みを進めていきます。採用を通じて地域に活力を届けるため、皆さまとともに成長していきます。

人材屋ラウンダーの仕事紹介

顧客満足度向上とサービス向上のため、一部のお客様を定期フォローするラウンダー業務を紹介します。業務内容や、心がけていることなど、仕事のやりがいや大変さについて聞いてみました。

Q. ラウンダー業務について教えてください。

お客様先へ訪問し、人材屋新聞をお渡ししながら、採用の近況やお困りごとを伺い、営業との橋渡しをしています。

Q. 一日の流れについて教えてください。

十時に出発し、午前・午後で数件を訪問。十二時から昼休憩を挟みつつ、翌日の準備を行い、十六時に業務を終了します。

Q. お客様先へ訪問するときに心がけていることは？

オンラインで完結する時代だからこそ、直接訪問を大切にし、事務的にならずお客様との会話を楽しむことを心がけています。

Q. お客様から言われて嬉しかった言葉は？

「また来てくださいますか？」と言われた時は、訪問を楽しみにしていただけたことに感激しました。また、「採用できた」「営業担当がいつも頑張ってくれている」と言われた時も、自分のことのように嬉しかったです。

Q. 大変だなと感じることは？

たくさん歩くため、夏の暑さや大雨の日は体力的に大変です。

そのため、体調管理には気をつけています。

Q. 印象に残っているエピソードについて教えてください。

この仕事は直接成果を生み出したり、形を残すわけではありません。そんな中、あるお客様から求人発注していただいたと営業担当から報告があり、「こつこつ来てくれるから」と言っていたことが印象に残っています。

【第二回】密着！新人育成ストーリー

新人の恵良君（えらっち）にインタビューし、入社前の気持ちから、成長を感じた瞬間まで、本音を語ってもらいました。

Q. 入社前、どんなことに期待していましたか？

温かい社内文化への共感や挑戦を歓迎する環境、安心できる居場所に惹かれました。特に、会社の条件よりも「どんな人たちと生きていきたいか」を重視していました。

Q. 正直、不安だったことはありませんか？

未経験で役立てるか、文化が理想通りか、自分らしく馴染めるか、家族の時間を守るかが不安でした。特に「人を大切にする文化」に共感しつつも、自分がそこに馴染めるかを心配していました。

Q. 人材屋を選んだ決め手は？

人を大切にする文化が本物だと感じたこと、課題解決型営業への共感、そしてこの会社なら自分を受け入れてもらえると感じたことです。

Q. 最初に感じた会社の印象は？

「会社」というより「チーム」みたいな印象で、人との距離が近く、フランクながら愛があり、温かい雰囲気でした。

Q. 「思っていたのと違った」と感じたことは？

育成方法についてです。マニュアルに頼るのではなく、自分の考えや挑戦を尊重し、行動を通じて学びを得るスタイルでした。

Q. 少し成長したと思う瞬間は？

リスクを恐れて動けなかった自分が、積極的に動けるようになったことです。

Q. 仕事を楽しいと感じる時は？

できなかったことができるようになる時、自分の成長や可能性を感じられる瞬間です。



▲取材に答える恵良君